

エネルギー安定供給の揺らぎ

原子力の安全性など、これまでのエネルギー政策の基本に大きな疑問が投げかけられ、国民からの信頼が失われている。

“石油危機以来のエネルギー不安”

産業は「6重苦」

「5重苦(※)」とも言われる日本の現状に、「電力供給制約」という更なる難題が加わり、事業環境は加速的に悪化。大企業の海外流出、中小企業など裾野産業の衰退。

“後戻りできない空洞化”の危機

世界の動きは待ったなし

国際経済秩序の変動をうまく捉え成長できるか、後手の対応となり停滞してしまうのか、今問われている。(この3年間で我が国名目GDPは、約55兆円減少)

“世界の成長からの脱落”の危機

国、企業、地方が一体となり、足下の危機を乗り越え、諸課題を解決し、時代の大きな変化に対応した経済・産業を実現する。

①原子力事故・震災から立ち直る

原子力事故への対応

- 放射線量の大幅な抑制
- 廃炉・事後処理

原子力被災者支援

- 生活や事業の再建援、健康管理等
- 損害賠償の円滑な実施、風評被害対策

中小企業等の再建・再生支援

- 資金繰り・二重ローン対策、自己資本の増強、設備復旧支援、復興需要の活用

復興を通じた新たな成長

- エネルギー、医療、IT融合拠点等の整備。復興基本法／復興特区法の活用。

③急激な円高、空洞化に立ち向かい、日本経済の課題の解決に取り組む

重要技術・産業の流出の防止

- サプライチェーンのコアとなる生産・研究開発拠点などの国内立地促進
- 地域経済を支える中小企業を支援

国内事業環境の国際的イコールフットイングの実現

- 法人実効税率の引下げ
- 自動車市場等の国内市場活性化
- グローバル企業を呼び込み我が国をアジア拠点に
- 成長と両立する温暖化対策
- 震災を踏まえたサプライチェーンの強靱化

大市場国との経済連携の強化

- 欧州とのEIA、日中韓FTA等の推進
- TPP交渉参加の早期判断

経済成長と両立する税/社会保障制度の構築

- 経済・産業への影響分析と提言

電力供給制約の払拭

②これまでのエネルギー政策を反省し、聖域なく見直す。企業や国民の信頼を取り戻す。

安全神話の払拭と原子力政策の見直し

- 国民から信頼される原子力安全規制・体制の再構築、世界の安全への貢献
- 核燃料サイクルを含め、原子力政策について予断無く検証

電力供給不足への対応とエネルギーの有効利用

- 需要家の立場に立った、持続可能な省エネルギー、ピークシフト・節電(蓄エネルギー含む)の促進
- 再生可能エネルギー、自家発電などの抜本的拡大
- 地域単位で最適なエネルギー管理を行う「スマートコミュニティ」の構築・普及

新しい電力システムの構築に向けた改革

- 広域連系・融通体制の強化による電力供給体制の強靱化
- 供給主体の多様化による効率的・効果的な供給体制の実現

資源・エネルギー安定供給体制の抜本的強化

- 国内石油・ガス供給網の強靱化
- 上流権益の獲得の強化等、レアアース・レアメタル対策

エネルギーの新たなベストミックスの実現

- 「エネルギー基本計画」の抜本の見直し
- 「安全性」と「安定供給」「経済効率性」「環境適合」の確保を目指す

内需拡大・世界に先駆けた新市場の創出

- 既存の枠を超え、消費者の新たな需要を活性化させる新たなビジネスモデル・新産業の創出
 - ITを活かした新たなシステム産業
 - エネルギー改革を通じた新産業群
 - 医療・介護分野の市場拡大
 - クール・ジャパンの推進
 - 農業の産業化
- 産業革新機構などの政策資源の成長分野への集中投入と、企業システム改革の推進

官民一体となった新興国市場の獲得

- 我が国企業のグローバル展開支援
- 戦略的なインフラ／システム輸出の推進
- 優れたエネルギー・環境技術／製品の海外展開
- 国際知財戦略の推進、迅速な国際標準化の推進

未来開拓技術の実現

- エネルギー分野をはじめ、将来の事業化を睨んだ長期の国家プロジェクトを、少数精鋭の強者連合により実施
- 産学官の連携強化により、基礎研究と事業化の壁を撤廃

中小企業の潜在力活用・戦略的経営力の強化

- 戦略的経営力の強化(リレーションシップ・バンキングの活用による経営力強化、M&A支援等)
- 海外展開支援
- 中小企業の事業再生・事業引継ぎの円滑化
- 地域コミュニティの活性化(商店街支援など)

④内需活性化、グローバル化、イノベーションによる新たな成長の実現

エネルギー改革を通じた新産業・雇用の創出